

## 第2項 平成29年度 年度計画にかかる事業報告書 大項目評価案

## 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 **S** (特に評価すべき進捗状況にある)

評価結果	<b>S</b> 特に評価すべき 進捗状況にある	A 順調に進んでいる	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れている
------	--------------------------------	---------------	-----------------------	--------------	---------------

## 小項目評価の集計結果

項 目	配点	評価点	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 市民病院としての役割の発揮 (4項目)	55点	41点	1項目		3項目		
2 高度医療及び専門医療の充実並びに医療水準向上への貢献 (4項目)	35点	27点		3項目	1項目		
3 安全で質の高い医療を提供する体制の維持 (3項目)	25点	15点			3項目		
4 市民及び患者とともに築くやさしい病院 (2項目)	15点	9点			2項目		
5 地域医療連携の推進 (2項目)	15点	11点		1項目	1項目		
6 神戸アイセンター病院の役割 (2項目)	10点	6点			2項目		
合 計 (17項目)	155点	109点 (得点率 70.3%)	1項目	4項目	12項目		

## 評価理由

年度計画に記載の「救急医療」項目が「年度計画を大幅に上回って実施」と認められ、得点率（評価点／配点）が7割を上回った。

平成29年度の実績のうち、下記の事項が特に評価できる。

## ○救急医療

中央市民病院では、神戸市全域の基幹病院・救命救急センターとして、救急受入体制を非常に高い水準で維持し、「断らない救急」を実行し、厚生労働省が実施する「全国救命救急センター評価」において総合評価で4年連続全国1位となった。

また、西市民病院と西神戸医療センターでは、院内救急体制の改善を図り、24時間体制の救急医療を着実に提供し、3病院ともに救急車搬送の応需率が前年度を上回った。

## ○高度医療及び専門医療

中央市民病院においては、手術支援ロボットの活用による質の高い医療提供をさらに進めるため、ロボット手術センターを新設した。

また、西市民病院においては最新の内視鏡システムを整備し、医療機能の向上を図り、西神戸医療センターにおいてはPET-CTを導入し、がんの集学的治療を提供した。

### ○5 疾病への対応

中央市民病院では、精神疾患を伴う患者を積極的に受け入れ、精神科身体合併症病棟を効率的に運用した。また、がん患者外来化学療法数と放射線治療数が前年度を大幅に上回った。

さらに、西神戸医療センターにおいてはPET-CTを導入し、がんの集学的治療を提供した。(再掲)

### ○臨床研究の推進

中央市民病院では、臨床研究中核病院を目指し、11月の先端医療センター病院との統合に併せ、臨床研究推進センターを新設し、臨床研究推進担当理事を配置するとともに、治験や臨床研究に関する講演会やセミナーの開催などに積極的に取り組み、新しい医療の開発を推進するための体制づくりを行った。

### ○地域医療連携

中央市民病院、西市民病院、西神戸医療センターでは、オープンカンファレンスや研修会・交流会の開催等により、顔の見える地域連携の推進を図り、3病院ともに紹介率が前年度を上回った。

また、西市民病院では、かかりつけ医相談窓口業務を拡大するとともに、FAX予約の受付時間を延長し、西神戸医療センターでは、土曜日のFAX予約を開始するなど、地域医療機関との連携を強化した。

平成29年度の実績から、下記の事項を課題と認めた。

### ○安全で質の高い医療

患者に最適な医療を提供するため、運用講習会等を通じてクリニカルパス<sup>※1</sup>の充実と活用継続して取り組んだが、今後は、医療情報システムの共通化を検討し、市民病院機構全体でさらなる医療の質の向上と標準化を推進すべきである。

※1 クリニカルパス

入院患者に対する治療の計画を示した日程表。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (順調に進んでいる)

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況にある	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	-------------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

## 小項目評価の集計結果

項 目	配点	評価点	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 優れた専門職の確保と人材育成 (3項目)	25点	17点		1項目	2項目		
2 働きやすくやりがいの持てる環境づくり (2項目)	15点	9点			2項目		
合 計 (5項目)	40点	26点 (得点率 65.0%)		1項目	4項目		

## 評価理由

年度計画の記載5項目全てが「年度計画を上回って実施」又は「年度計画を順調に実施」と認められ、得点率（評価点／配点）が6割を上回った。

平成29年度の実績のうち、下記の事項が特に評価できる。

## ○専門職の確保

先端医療センター病院との統合にあたっては、新たに治験コーディネーターを採用するなど、実情に合わせて専門職を確保した。

平成29年度の実績から、下記の事項を課題と認めた。

## ○働きやすい環境づくり

育児短時間勤務制度や院内保育所に関して、子育て中の職員に対する支援体制の充実を図ったが、今後は、医師をはじめとした職員の負担軽減を含めた働き方の改革に取り組む必要がある。

## 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果  A (順調に進んでいる) 

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況にある	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	-------------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

## 小項目評価の集計結果

項 目	配点	評価点	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 安定的な経営基盤の維持 (3項目)	35点	26点		2項目	1項目		
2 質の高い経営ができる病院づくり (3項目)	20点	14点		1項目	2項目		
合 計 (6項目)	55点	40点 (得点率 72.7%)		3項目	3項目		

## 評価理由

年度計画の記載6項目全てが「年度計画を上回って実施」又は「年度計画を順調に実施」と認められ、得点率(評価点/配点)が6割を上回った。

平成29年度の実績のうち、下記の事項が特に評価できる。

## ○安定的な経営基盤の維持

医療を取り巻く環境が厳しさを増す中、各病院においては、DPCデータ活用や適切な病床運用の徹底などによる効率的・効果的な病院運営や収入確保に努めた。

中央市民病院は紹介・逆紹介の推進等による新規患者確保や寄付受入、西市民病院は地域包括ケア病棟の導入や各診療科・病棟の配分病床数の見直し、西神戸医療センターは外来化学療法の増加により収益を確保した。また、神戸アイセンター病院は、開設準備費用の負担があったが、積極的な広報等により患者の確保を図るなど、計画達成に向けた努力を重ねた。その結果、平成29年度の経常損益は、法人全体で250百万円となり、3年ぶりの黒字となった。

## ○質の高い経営

常任理事会や理事会における決算報告や経営分析、院長による部門別ヒアリングの実施などによるガバナンスの強化や役員研修会の実施など、全職員に対する組織目標の共有化や経営への意識向上を図った。

平成29年度の実績から、下記の事項を課題と認めた。

## ○安定的な経営基盤の維持

中央市民病院は黒字化を達成しているが、既に高単価、高利用率の収益構造となっており、単価や病床利用率の少しの低下で赤字となる可能性がある。

西市民病院は、地域包括ケア病棟を導入し、リハビリ実施体制を強化したことなどにより、収益の確保に努めたものの、医師の異動等を受けた患者数の減により収益が減少した。

今後は、診療単価が頭打ちしている状況や、周辺地域の特性を踏まえ、病床のあり方を含めた収支改善策や医師確保策についても検討していく必要がある。

西神戸医療センターは、外来化学療法の増加など診療機能にかかる改善等もあり黒字となったものの、黒字化の要因としては神戸市から土地・建物が市民病院機構に出資されたことによる効果大きい。今後も、紹介・逆紹介をより一層推進し、地域医療機関との連携を進めるなど、経営改善に努める必要がある。

今後、4病院それぞれが自立し、状況に応じて補完しながら市民病院機構全体で経営を行う必要がある。

## 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

評価結果  A (順調に進んでいる) 

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況にある	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	-------------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

## 小項目評価の集計結果

項 目	配点	評価点	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 中央市民病院におけるPFI事業の円滑な推進 (1項目)	5点	3点			1項目		
2 市関連病院との連携 (1項目)	5点	3点			1項目		
3 神戸医療産業都市における役割 (1項目)	15点	12点		1項目			
合 計 (3項目)	25点	18点 (得点率 72.0%)		1項目	2項目		

## 評価理由

年度計画の記載3項目全てが「年度計画を上回って実施」又は「年度計画を順調に実施」と認められ、得点率(評価点/配点)が6割を上回った。

平成29年度の実績のうち、下記の事項が特に評価できる。

## ○神戸医療産業都市

中央市民病院では、11月に先端医療センター病院を統合し、医療機能を効果的に継承するとともに、PET-CT検査予約・検診事業を引き継ぐなど、より神戸医療産業都市の中核機関としての役割を強化した。また、神戸低侵襲がん医療センターとの化学療法治療等の連携強化や緩和ケア目的の転院の促進を行った。

平成29年度の実績から、下記の事項を課題と認めた。

## ○PFI事業の円滑な推進

中央市民病院におけるPFI事業に関しては、定期・随時の業務実施状況の確認や改善によって効率的で円滑な運営を行っているが、先端医療センター病院の統合による対象業務拡大部分への対応の検証に加え、市民病院機構全体で委託業務に関する消費増税の収支への影響を最小限にするための対応についても検討を行うべきである。